



26 May, 2010

物質班計画

小野寺真一（広島大学）



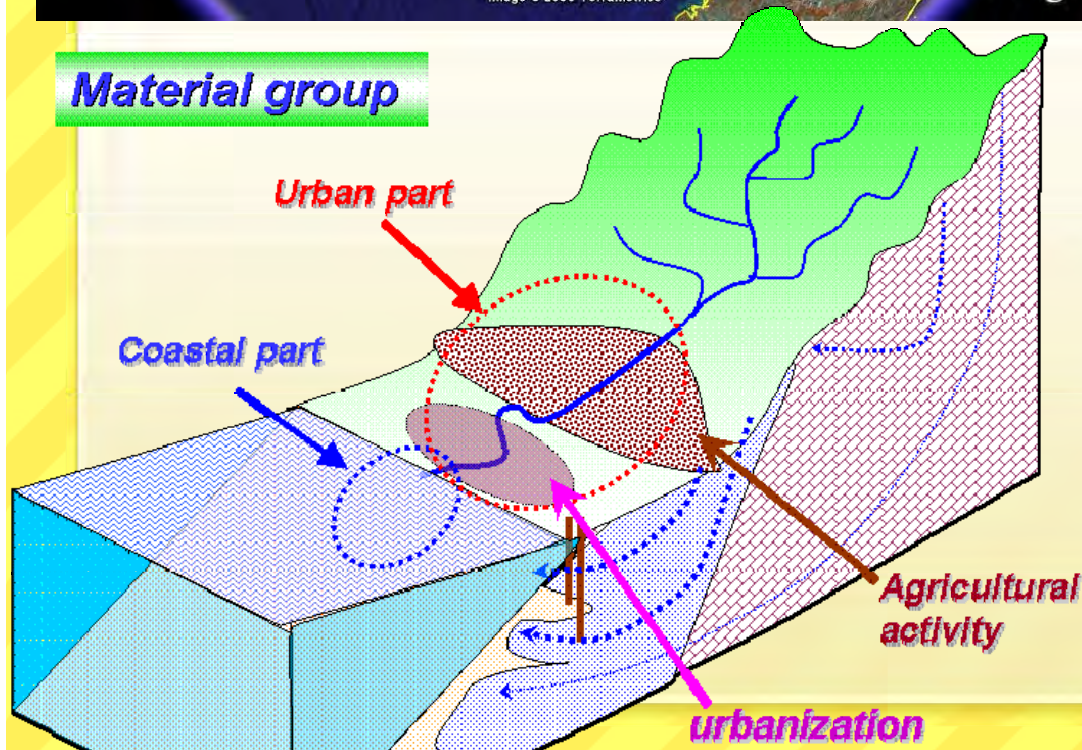


目的

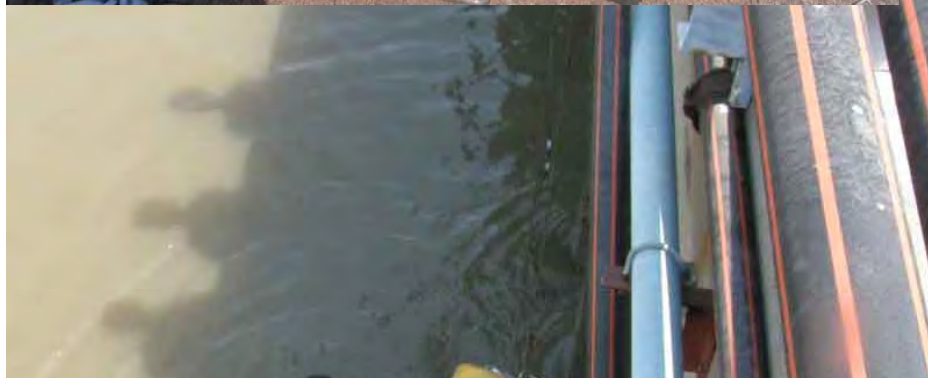
都市での汚染物質について、

- ① 負荷量?
- ② 蓄積量?
- ③ 輸送量?
- ④ 浄化量?

都市間での比較



現在進行



地下水流出モデルとの対応
将来への影響についての考察へ

成果公表へ

- Hydrological Process分；細野1件、梅沢2件、齊藤1件、清水1件、小野寺1件
- 各都市でのモニタリングワーク分（地元担当者）；バンコク1件（Gullaya,安元）、マニラ1件（Fernando,清水）、ジャカルタ1件（Robart,小野寺）、大阪1件（中屋、中野）
- 手法に関する論文；溶存ガス1件（小野寺）、原単位-窒素フローモデル解析1件（清水）、超音波浄化法1件（大川）

さらに残された課題

- 各都市別のデータセットの完備⇒地球研へ
- 社会経済班との論文
 - 法的整備との関係；大阪の場合＝1970年前後
 - 地下水汚染・堆積物汚染と社会経済との関わり
- 次年度以降への展開（予算獲得）
 - ジャカルタSGD；JSPS2国間共同事業
 - ジャカルタ汚染浄化；JICA
 - 沿岸リン問題；科研

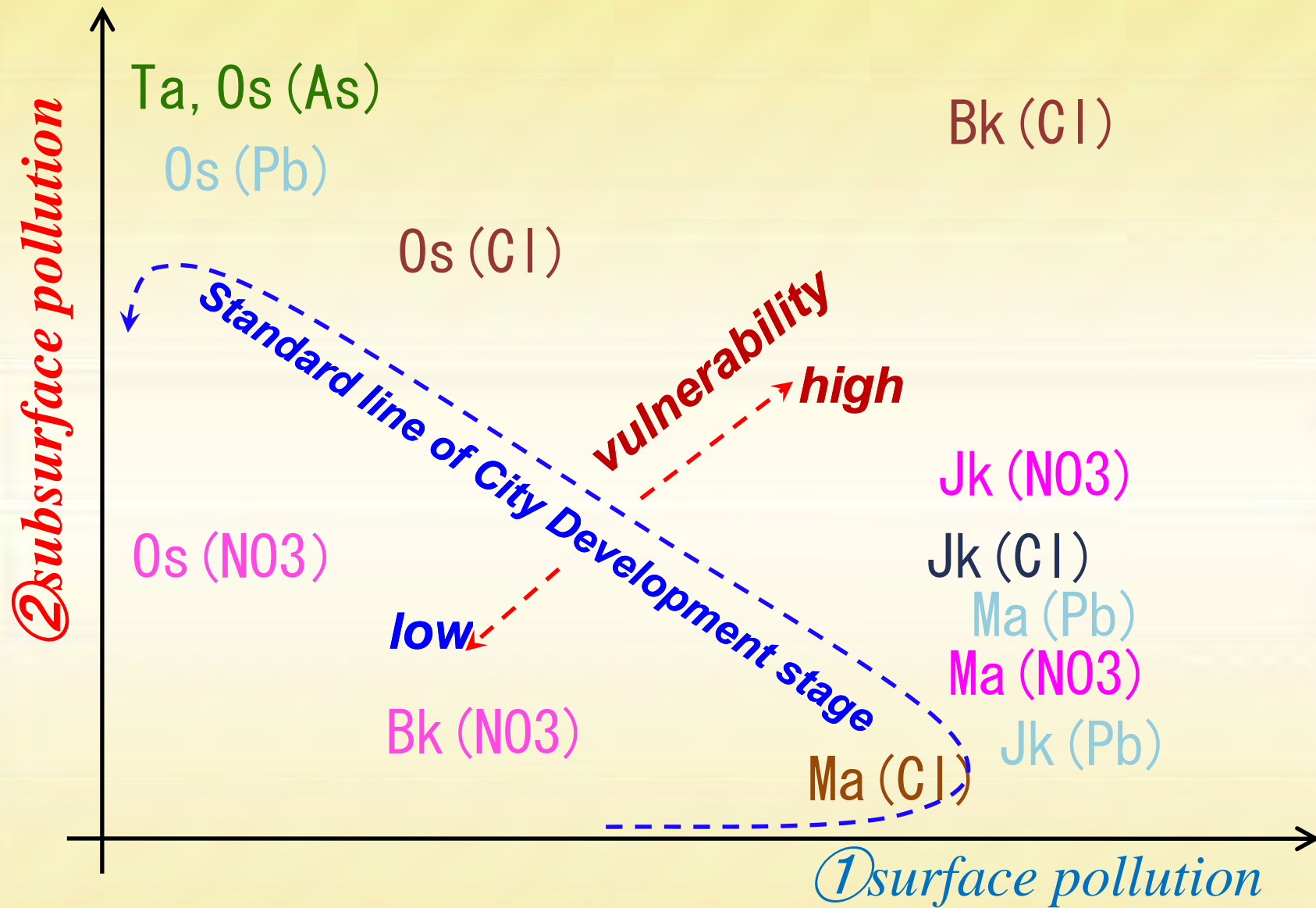


Fig. 23 Vulnerability of coastal megacity to each pollutant.
 BK : Bangkok, Jk : Jakarta, Ma : Manila, Os : Osaka, Ta: Taipei

